

# 平成 26 年度 社会福祉協議会活動全国会議 開催要項

## 1. テーマ

### 『社協・生活支援活動強化方針』の具体的展開

～平成 27 年度 生活困窮者自立支援法施行、社会保障・福祉制度改革にむけて  
社協はどう取り組むか

## 2. ねらい

生活困窮者自立支援法の本格施行を控え、社協は、地域における深刻な生活課題・福祉課題や社会的孤立の問題に対応するため、住民とともに地域のニーズ発見・相談支援のシステムを構築していく必要がある。介護保険制度についても地域支援事業の再編を含めた大きな制度改革が予定されており、介護サービスと小地域福祉活動や生活支援サービス等との連携も大きな課題となる。

また、社会福祉法人に関しては、イコールフットィング論を含めた厳しい意見が高まる中、情報公開や公益的な取り組みの促進、サービスの質の向上等が求められている。

社協においては、こうした政策動向を見極めながら制度改革等に的確に対応するとともに、あらためて地域福祉の推進にむけた戦略を明確化し、関係者との協働を進めていく必要がある。

本全国会議では、「社協・生活支援活動強化方針」の推進を軸におきながら、今、社協が取り組むべき課題等について討議し、実践を推進していくことを目的に開催する。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
4. 後援 厚生労働省（予定）
5. 運営 全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会
6. 日時 **平成 26 年 6 月 12 日(木)～13 日(金)**
7. 定員 300 人
8. 申込締切 平成 26 年 5 月 23 日（金）
9. 会場 全国社会福祉協議会・灘尾ホール、5 階会議室
10. 参加対象 社会福祉協議会役職員及び地域福祉関係者
11. 参加費 10,000 円（宿泊代等別途）

## 12. 日程

		12:00	12:45	13:00	13:30	14:00	15:30	17:45	18:00	19:00	
1 日目 (12 日)		受付	開 会	基調 説明	行政 説明	講演	シンポジウム			交流 会	
2 日目 (13 日)	分科会										
		9:30		12:00							

## 13. プログラム

### 6月12日(木)

#### 12:45~13:00 【開会・挨拶】

全国社会福祉協議会 副会長 高井 康 行  
全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会  
委員長 村上 哲 雄

#### 13:00~13:30 【基調説明】

「社会福祉協議会をめぐる動向と取り組み課題」  
全国社会福祉協議会地域福祉部長

平成27年度からの生活困窮者支援制度の本格施行、介護保険制度改正等、社会保障・福祉政策の大きな転換期を迎えようとするなか、社会福祉協議会はこれらの制度改革の動きを見極め、存在意義を発揮するべく体制整備や事業・活動の拡充をはかっていかなければならない。ここでは、社協をめぐる政策動向を踏まえて今取り組むべき課題について共有する。

#### 13:30~14:00 【行政説明】

「地域福祉、生活困窮者支援の動向について」  
厚生労働省社会・援護局（予定）

#### 14:00~15:30 【講演】

「生活困窮者支援への取り組みとこれからの地域福祉の展開」  
和田 敏明氏（ルーテル学院大学教授）

生活困窮者支援にあたっては、これまですすめてきた総合相談・生活支援の取り組みをさらに強化することで、潜在化しているニーズを発見し、深刻な生活課題の解決・支援をはかる体制を構築していく必要がある。また、社会的孤立の問題に取り組み、生活困窮者を支え合う地域づくりを進めることも大きな課題である。生活困窮者支援を通じて社協がめざすもの、そして、この実践を通じたこれからの地域福祉の展開について課題提起いただく。

#### 15:30~15:45 休憩

15 : 45~17 : 45 【シンポジウム】

「新たな福祉課題・生活課題への対応にむけた地域の協働」

コーディネーター/上野谷 加代子氏（同志社大学社会学部教授）

シンポジスト/浦野 正男氏（社会福祉法人中心会理事長/

全国社会福祉法人経営者協議会総務委員長）

内海 正子氏（NPO 法人はなのいえ理事長）

谷口 郁美氏（滋賀県社会福祉協議会地域福祉部長/  
（仮称）滋賀の縁創造実践センター開設準備室長）

佐甲 学（全国社会福祉協議会地域福祉部長）

昨今、生活困窮者支援をはじめ、複合的、重層的な福祉課題・生活課題を抱える事例が増加し、各福祉分野の連携による総合的な相談・生活支援体制が必要とされている。また、平成 27 年度介護保険制度改正では、地域支援事業の再編が盛り込まれ、フォーマルサービスとインフォーマルサービスの組み合わせによる支援の展開が期待されるなど、分野や立場を超えた横断的な連携・協働、ネットワークがますます必要とされている。一方で、社会福祉法人をめぐっては、イコールフットィング論を含む厳しい意見が高まっており、とくに社会福祉法人・福祉施設については、地域のニーズに柔軟に対応し制度外の新たな福祉サービス・活動を開発していくことが期待されている。

ここでは、社協、社会福祉法人・福祉施設、NPO の立場から、改めて地域福祉の推進のための連携・協働のあり方、今後の取り組み課題について考える。

18 : 00~19 : 00 交流会 参加費 1,000 円（お一人様）

6 月 13 日（金）

9 : 30~12 : 00 【分科会】

<分科会共通討議テーマ>

- ◇ 潜在化しているニーズへのアウトリーチの方法や課題
- ◇ 住民・ボランティアによる福祉活動、社会福祉法人・福祉施設や NPO、行政等との連携・協働
- ◇ 事業・活動を推進するための財源確保のあり方や課題

**分科会 1** 生活困窮者支援への取り組みと「社協・生活支援活動強化方針」の具体化

コーディネーター/原田 正樹氏（日本福祉大学社会福祉学部教授）

実践報告/東松島市社会福祉協議会生活支援相談センター企画調整担当

阿部 誠氏

名張市社会福祉協議会事務局次長

福井 浩司氏

平成 24 年度に全社協・地域福祉推進委員会が策定した「社協・生活支援活動強化方針」は、社協の現在の活動が「住民が抱える今日的な生活課題の解決につながっているか」という視点から改めて点検し、事業・活動の強化をはかることを課題提起した。生活困窮者支援への取り組みは、「社協・生活支援活動強化方針」の具体化にもつながるものであり、本分科会では、平成 25 年度から始まった国のモデル事業の実践報告等を踏まえて、強化方針の具体化にむけた社協の意識改革、推進方策等について考える。

## 分科会2 地域包括ケアシステムの推進にむけて

### ～介護サービスと小地域福祉活動、生活支援サービスの連携

コーディネーター/永田 祐氏（同志社大学社会学部准教授）

実践報告/立川市社会福祉協議会地域支援課長

山本 繁樹氏

高島市社会福祉協議会事務局長

馬場八州男氏

宝塚市社会福祉協議会事務局長

佐藤 寿一氏

平成27年度の介護保険制度改正では、介護予防給付の訪問介護・通所介護の地域支援事業への移行、介護予防・生活支援サービスの拡充などが盛り込まれるとともに、地域包括ケアの実現にむけて日常生活圏域が一層着目されている。このようななか、住民の小地域福祉活動と連携した小規模デイサービス等の展開や、食事や移送サービスなどの生活支援サービス等の開発や連携など、地域福祉を推進する視点からの事業展開が求められる。

本分科会では、多様な生活課題に対応していく仕組みとして、社協の介護サービス事業の意義や地域に密着したサービスのあり方、小地域福祉活動や生活支援サービス等との連携について考える。

## 分科会3 地域における総合的な権利擁護体制の構築

コーディネーター/岩間 伸之氏（大阪市立大学大学院教授）

実践報告/山形市社会福祉協議会成年後見センター主任

橋本 晶子氏

大垣市社会福祉協議会理事・事務局長

早崎 正人氏

笠岡市社会福祉協議会かさおか権利擁護センター

生宗 悟氏

認知症高齢者の増加、家族形態の変化や障害者の地域生活移行等施策の推進を背景に、社協の日常生活自立支援事業へのニーズはますます高まっており、さらに成年後見制度への取り組みも含めた権利擁護体制の構築が期待されている。

また今後、「社協・生活支援活動強化方針」に沿った総合相談・生活支援を推進するなかで、権利擁護の視点にたった、専門的な支援を必要とするような事例の掘り起こしがすすむことが予測され、地域における権利擁護体制の充実が急務である。

本分科会では、地域における総合的な権利擁護体制の構築に向けた取り組み課題や行政をはじめとする関係者との連携、権利擁護センター等の具体的な推進方策について考える。

## 14. 申し込み方法

別紙の「参加・交流会・宿泊のご案内」をご覧ください、「参加・交流会・宿泊申込書」をご記入のうえ、5月23日（金）までに名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にFAXにてお送りください。お申込み内容に基づき、同社より振込依頼書ならびに参加券等をお送りいたしますので当日参加券等お持ちください。参加費等のお支払いにつきましては、振込依頼書に記載の期日までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。

参加費につきましては、入金後ならびに6月5日（木）以降の取り消しについては、資料の送付をもって代えさせていただきますので、あらかじめご承知おきください。

## 15. 個人情報の取り扱いについて

本会議につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。

「参加申込書」に記載された個人情報は、本会議資料に氏名・所属・役職を掲載した名簿を収載する他、本会議の運営管理の目的にのみ利用いたします。

## 16. お問い合わせ先

全国社会福祉協議会 地域福祉部 担当：水谷、仁木

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 Fax 03-3581-7858

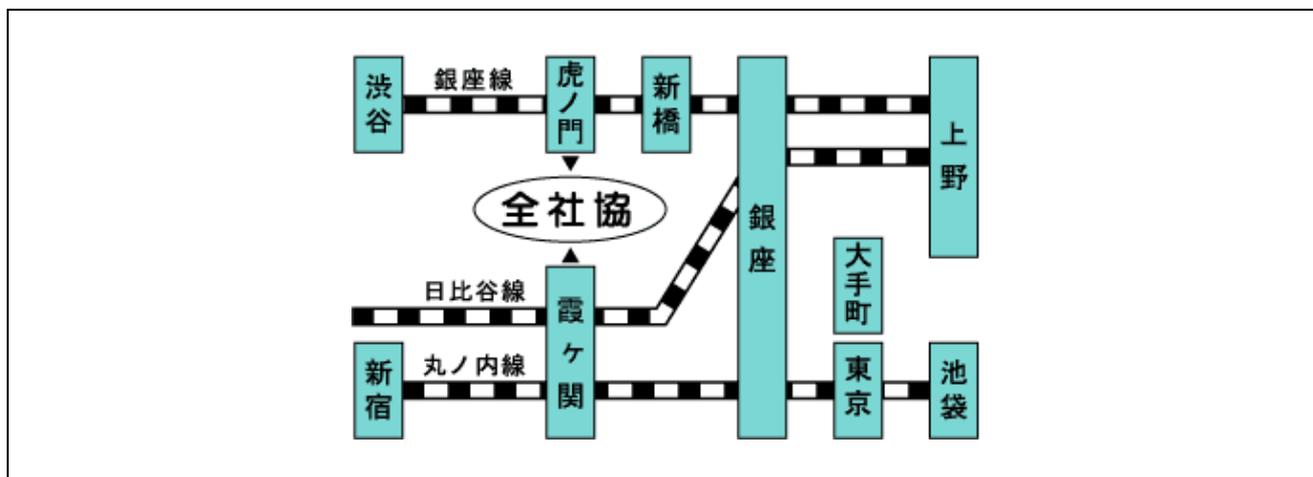
Eメール : z-chiiki@shakyo.or.jp

## ◇会場のご案内



〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号

## ◇交通機関のご案内



- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 地下鉄千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

# 平成 26 年度 社会福祉協議会活動全国会議 参加・交流会・宿泊のご案内

## ■参加費について

参加費:10,000円(参加者1名につき)

## ■宿泊のご案内

本会議の開催に際し下記ホテルのご手配を承ります。ご希望の方は申込書にてお申込みください。

申込記号	宿泊施設名	部屋タイプ	宿泊料金	最寄駅/会場からの所要時間
A	新橋愛宕山東急イン	シングル	13,900円	地下鉄銀座線「虎ノ門」駅 徒歩7分 /会場より徒歩約12分
B	マロウドイン赤坂	シングル	9,500円	地下鉄千代田線「赤坂」駅 徒歩5分 /会場より約20分(地下鉄利用)

※宿泊をご希望の場合は申込書の所定欄に第1希望、第2希望および宿泊日、泊数をご記入ください。

※宿泊料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様1泊あたりの金額です。

※各ホテルとも部屋数に限りがございますので先着順にて受付をさせていただきます。満室となりました場合は他のホテルへの宿泊をお願いすることがございますことを予めご了承ください。

## ■交流会のご案内

6月12日(1日目)18:00より交流会を開催します。参加をご希望の方は申込書にてお申込みください。

交流会費:1,000円(お一人様)

- ① 申込書に必要事項をご記入の上FAXにて名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までお申込みください。
- ② 参加のみお申込み(宿泊申込をされない)の場合でも、申込書に必要事項をご記入の上お申込みください。
- ③ 申込締切日以降開催日の1週間前に参加券類及び振込依頼書を申込担当者様宛にご郵送させていただきます。到着後振込依頼書記載の口座に費用全額をご送金ください。

## ■申込締切日

事務手続の関係上、締切日を**平成26年5月23日(金)**とさせていただきます。

## ■取消・取消のご連絡について

※受付時間外の変更・取消ご連絡は、翌営業日の受付扱いとさせていただきます。ご了承ください。

変更・取消が発生した場合は必ず申込の際の申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、FAXにて名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までご連絡ください。

●参加取消 参加費ご入金後ならびに6月5日(木)以降の取り消しについては、資料の送付をもって代えさせていただきますので、予めご承知おきください。

●宿泊取消 取消日より下記の取消料を申し受けます。予めご了承ください。

取消日	14-8日前	7-2日前	前日	当日12:00まで	当日12:00以降 および無連絡
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%

●交流会参加取消 交流会参加費ご入金後にお取消の場合はご返金いたしかねます。ご了承ください。

## ■お申込み・お問合せ先

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階  
電話 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119  
受付時間 平日9:30~17:30 土日祝日休業

# 平成 26 年度 社会福祉協議会活動全国会議

## 参加・交流会・宿泊申込書 (6月12日～13日開催)

※4名様以上でお申込みの場合はコピーをしてご利用ください

事務手続の関係上 **5月23日(金)** までに『名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店』までお申込みください。

申込日	月	日	新規申込	内容変更	参加取消	枚中	枚目
-----	---	---	------	------	------	----	----

### 【参加申込】

都道府県 または 政令指定都市		社協名	社会福祉協議会	申込 人数	名
社協所在地  参加券送付先 となります。	郵便番号	※郵便番号・住所等は正確にご記入ください。			
	住 所				
	電話番号	FAX	申込担当者	様	
通信欄					

※参加券・振込依頼書等はご記入いただいた住所(社協所在地)の申込担当者様宛に一括送付させていただきます。

フリガナ		部署名	役職名	2日目分科会 (ご希望に○印)	交流会 【1日目】	宿泊申込(申込記号をご記入ください)	
参加者氏名						宿泊希望日(泊数)	
1	フリガナ	部署名	役職名	分科会 1 分科会 2 分科会 3	参 加  不参加	<第1希望>	<第2希望>
	氏名					6月 日より( 泊)	
2	フリガナ	部署名	役職名	分科会 1 分科会 2 分科会 3	参 加  不参加	<第1希望>	<第2希望>
	氏名					6月 日より( 泊)	
3	フリガナ	部署名	役職名	分科会 1 分科会 2 分科会 3	参 加  不参加	<第1希望>	<第2希望>
	氏名					6月 日より( 泊)	

(宿泊申込記号) A.新橋愛宕山東急イン:13,900円 B.マロウドイン赤坂:9,500円

- ・宿泊をご希望の場合は、宿泊申込記号を(第2希望まで)および宿泊日・泊数をご記入ください。なお氏名欄のフリガナを必ずご記入ください。
- ・部屋数に限りがございますので先着順での受付とさせていただきます。満室となりました場合は他ホテルをご案内させていただく場合がございますことを予めご了承ください。

【費用計算欄】 申込内容に基づく費用計算をお願いします。

①会議参加費	②交流会参加費	③宿泊費計	費用合計額①～③の合計額
10,000円× 名	1,000円× 名	円	円

申込締切日以降、開催の1週間前に参加券および費用振込依頼書を申込担当者様宛にお送りいたします。到着後送金のお手続きをお願いします。

### 【申込先】

**名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店** 担当 波多野

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階

電 話 03-3595-1121 **FAX 03-3595-1119 (送信状は不要です)**

**変更、取消が生じた場合は本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、再度FAXにてご連絡ください。**